

昭和伊南総合病院新病院建築基本構想に係る意見

No.	構成員職	氏名	意見	回答
1	上伊那医師会長	前澤 毅	<p>地元医師会への説明の場を設けて欲しい。</p> <p>市の懇談会で総務省へ提出するとの発言を担当者がしていたが、詳細不明である。</p> <p>伊南地域の中核病院であることを考えれば、当然必要なことと考えます。</p> <p>説明会の場なくして次へは進めないと考えます。</p>	<p>現在、基本計画の策定に向けて検討を進めていますが、病床数や建設地をはじめ未定の事項が多い状況です。</p> <p>基本計画の素々案ができ、医師会の皆様にご説明できるようになった段階で、当院の考えをご説明させていただき、ご意見を伺いたいと考えていますのでよろしくお願い致します。</p>
2	上伊那医師会副会長	高山 伸	<p>昭和伊南総合病院は、伊南地域の基幹病院であり、同地域の南部医師会（上伊那医師会南部ブロック会）での説明を、是非お願いいたします。</p>	<p>上記に同じです。よろしくお願い致します。</p>
3	こころの医療センター駒ヶ根事務部長	森腰 孝之	<p>1 病床規模について</p> <p>病床規模を様々な角度で試算され、220床程度とされていますが、現在の稼働病床239床からみて、今後の医療需要や将来推計患者数も想定より更に厳しくなるように思われます。</p> <p>このため、経営安定の視点や地域での役割、機能の変化、医療機関連携も考慮して、診療報酬上の恩恵がある「在宅療養支援病院」取得条件を満たす199床の病床規模も計画の中でご検討されてはいかがでしょうかと思います。</p> <p>2 病床の個室化について</p> <p>病床の個室化については、感染対策、患者アメニティ、病床利用率の向上の視点から全室個室化が理想となります。</p> <p>投資費用の面もありますが感染対策の面では極めて優位であることから全室個室化についても選択肢の一つとしてご検討されてはいかがでしょうか。</p>	<p>基本構想では「220床程度」としていましたが、基本計画の段階で何床にするのか現在検討中です。</p> <p>ご指摘いただいた将来予測や診療報酬制度上の条件のほか、現に200床を超えて入院している日数の状況や、将来的な医師確保の観点、さらには診療報酬制度の今後動向なども踏まえて引き続き慎重に検討してまいります。</p> <p>基本構想では「個室割合を高めた病棟整備を検討します」としています。その意図はご指摘にもあるメリットを十分に活用できる環境を整えることにあります。</p> <p>一方で、コスト面（インシャル及びランニング）、スタッフの動線などの効率性、多床室のメリットとの比較など、検討すべき課題も多いと考えます。</p> <p>ご意見を参考とさせていただき、引き続き検討してまいります。</p>